

現代室内楽の夕べ

四人組とその仲間たち 2021

全曲新作・世界初演

Série de la Musique Contemporaine Groupe des Quatre et ses ami(e)s

池辺晋一郎：バイヴァランス XVI 2本のファゴットのために

IKEBE, Shin-ichiro : Bivalence XVI for Two Bassoons

長 哲也 Tetsuya Cho (bn.) / 福士マリ子 Mariko Fukushi (bn.)

新実徳英：ソムニウム クラリネットとピアノのために

NIIMI, Tokuhide : Somnium for Clarinet and Piano

板倉康明 Yasuaki Itakura (cl.) / 中川俊郎 Toshio Nakagawa (pf.)

西村 朗：極光 トランペットとピアノのための

NISHIMURA, Akira : Polar Lights for Trumpet and Piano

菊本和昭 Kazuaki Kikumoto (trp.) / 新居由佳梨 Yukari Arai (pf.)

金子仁美：3Dモデルによる音楽 VIII ヴァイオリンとピアノのための

KANEKO, Hitomi : Composition by 3D modeling VIII for Violin and Piano

甲斐史子 Fumiko Kai (vn.) / 大須賀かおり Kaori Ohsuga (pf.)

鷹羽弘晃：ガンマ・コレクション マンドリンとギターのための

TAKAHA, Hiroaki : Gamma Correction for Mandolin and Guitar

望月 豪 Go Mochizuki (mdr.) / 山田 岳 Gaku Yamada (gt.)

11月30日(火)19:00開演(18:15開場)

東京文化会館 小ホール

入場料：一般 4,000円 / 学生 2,000円 税込 全自由席

〈ライブ配信も予定しています〉

東京文化会館チケットサービス (Tel: 03-5685-0650 / <http://t-bunka.jp/>)

主催・制作：株式会社 全音楽譜出版社 お問合せ：TEL. 03-3227-6280

※未就学児童の入場はお断りいたします。

※裏面の「来場されるお客様へのご案内」の内容に同意いただいた上でお申込みください。



来場されるお客様へのご案内

新型コロナウイルス感染予防対策として、下記の事項を遵守くださいますようお願いいたします。
お守りいただけない場合は入場をお断りさせていただく場合がございます。

- ・以下の方は来場をお控えください。
 - ・37.5℃以上の発熱がある方、または発熱が続いている方。
 - ・風邪の症状（咳、くしゃみ、喉の痛みなど）のある方。体調・気分の優れない方。
 - ・身近に新型コロナウイルス感染症の患者や濃厚接触者がいる方。
- ・会場内では常時マスクを着用してください。また、咳エチケットのご協力をお願いします。
- ・こまめな手洗い、手指の消毒をお願いします。
- ・他の人との距離をできるだけとるように心がけてください。また、会話はなるべくお控えください。
- ・ブラボー等の声援はお控えください。
- ・出演者への面会、プレゼントや差し入れ等はお控えください。受付でお預かりすることもできません。
- ・上記の他、ホールのガイドライン(t-bunka.jp/info/5673/)に従ってください。

状況により、内容の変更や公演延期・中止をする場合がございます。最新情報はWebサイトでご確認ください。

本公演はライブ配信を予定しています。詳しくは全音楽譜出版社のホームページでお知らせします。

<http://www.zen-on.co.jp/>

Série de la Musique Contemporaine Groupe des Quatre et ses ami(e)s

人と音楽の間に——ZEN-ON

全音楽譜出版社は創業90周年を迎えました

今から遡ること90年、1931年（昭和6年）5月20日に、
後の全音楽譜出版社の前身となる印刷所が東京下町の一角で小さな産声をあげました。
創業者・島田貞二はさまざまな印刷物の製作を請け負いながら、
徐々に楽譜の印刷・出版に将来性を見出してゆくことになります。
戦時中の厳しい時代を経て、終戦直後の8月末、
疎開先から東京に戻った島田貞二は、焼け野原のなかを奔走し、
所在不明となった著者、浄書業者、製本業者などをひとりひとり探し当て、
2ヶ月余の間に編集・製作・営業・配送・経理までを単独でこなし、
早くも11月には出版を再開しました。
「戦時中、最後まで楽譜を出版し続けたのは全音であり、
戦後、最初に再開したのも全音であった」と後に貞二は述懐しています。
その後、1947年（昭和22年）に株式会社へと発展的に改組し、
日本の戦後復興と高度成長に歩みをあわせ、
楽譜や音楽書の出版・販売から楽器の製造・販売まで、
次々と業務を拡大していくことになります。
音楽とともに生き、音楽を求め続ける多くの皆さまのご愛顧により、
今日では、その出版事業はさまざまな広がりをもつに至っています。
これからも全音は、伝統を受け継ぎつつ、さらなるチャレンジに取り組んでまいります。
音楽を求め、楽しみ、学び、極めようとする全ての人々。
その近くにいつも寄り添いながら、人と音楽の間の架け橋で在り続けたいと願っています。
人と音楽の間に——ZEN-ON。
90周年を超えてなお、私たち全音楽譜出版社は、その先の未来を見つめ続けます。

